

8ch Studio CUE-Box

CB-Q1

取扱説明書

株式会社トライテック

Issued : Jul.1999 / Rev.1.0

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、本機の性能を十分発揮して末長くお使いいただきますようお願いいたします。

■安全にご使用いただくために

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて【警告】あるいは【注意】表示を行なっています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

【警告】表示の項目は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

【注意】表示の項目は、無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。

安全上のご注意

【警告】

- 煙が出たり、変な匂いや音がする時など異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因になります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
- 本機を分解したり改造したりしないでください。けがや感電、火災の原因になります。
- 電源は安定したAC100vを使用してください。指定外の電源を使うと感電、火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 遺物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電、火災の原因になります。すぐに電源を切ってコンセントから電源コードを抜き、弊社までご相談ください。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し火災の原因になります。
- 電源プラグの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると火災の原因になります。電源プラグにホコリなどの遺物が付着したまま差し込まないでください。また電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んでください。

【注意】

- 不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた場所など)に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする危険があります。
- 湿気やホコリの多い場所で使用しないでください。感電、火災の危険があります。
- 本製品をスタジオ内で移動する場合は、キャスターが床に付いた状態で本体に手を添え、ゆっくり移動させてください。接続ケーブルや電源コードを引っ張って移動させるようなことはしないでください。
- 操作部のハンドルをもって本製品を持ち上げるようなことはしないでください。持ち上げる際はネック部あるいはベース部を持ってください。
- 使用後は安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

■各部の説明

操作部

- **Chフェーダー** : ステレオ・フェーダー(1/2ch)が1本、モノラル・フェーダー(3~8ch)が6本あります。いずれも45mmストロークのスライド・フェーダーです。
- **PANスイッチ** : 各モノラル・フェーダーの上部にあります。ステレオ・ヘッドフォン出力のL/R-chを設定します。センター位置で両chから出力されます。
- **電源/MUTEインジケータ** : ステレオ・フェーダーの上部にあって、本機に電源が入っていると『緑』に、MUTE状態になると『オレンジ』に点灯します。
- **MUTEスイッチ** : 操作部右上にある白いボタンを押すとヘッドフォン出力がミュートされ、インジケータがオレンジに点灯します。もう一度押すとミュートが解除されます。
- **TREBLE/BASSトーン・コントロール** : TREBLEツマミは高域(約10kHz)を、BASSツマミは低域(約100Hz)をそれぞれ±10dBコントロールできます。
- **MASTER VR** : 出力レベルをコントロールします。

【注意】過大出力は聴覚に障害を引き起こす危険があります。

- **ヘッドフォン・ジャック** : Type-AIには3つ、Type-BIにはイヤフォン・ジャックと各2つあります。いずれも標準ステレオ・ジャックです。ヘッドフォン・ジャックにモノラル・プラグを挿入すると、短絡保護回路が働いてR-chの出力がカットされます。モノラル・プラグを抜けば復帰します。イヤフォン・プラグはモノラルでも使用できますが、L-ch側しか出力されません。
- **入力コネクタ** : 操作部底面にELCO 8016-38が2つあり、全く同じピン番号になっています(ピン番号はAppendixを参照してください)。本機はキュー・マスターなどが不要なので、ミキシング・コンソールのフォールドバック出力やCUE送り出力などを直接接続することができます。もう1つの入力コネクタを専用ケーブルでもう1台のCB-Q1と接続すると、壁のキュー・コンセントを節約できます。

【注意】本製品の接続に関して、専用ケーブルを使用せずに自家製ケーブルなどを使用した場合、接続を誤ると正しく音が出ないだけでなく、コンソール側の機器の出力回路にダメージを与える可能性があります。弊社製専用ケーブルのご使用をお勧めします。

ベース部

- **AC入力コネクター** : 必ず付属のACコードを使用してください。
- **FUSEホルダー** : ヒューズが切れた場合は付属の予備ヒューズまたは同じ定格のものと交換してください。小さなマイナス・ドライバーなどを正面または上部の穴に差し込むとヒューズを交換できます。

【警告】ヒューズを交換してもすぐに切れる、あるいは頻繁にヒューズが切れる場合は、内部で異常が起こっている可能性が高いので、使用を中止してすぐに弊社までご相談ください。定格以上のヒューズに交換すると、火災などの原因になります。

- **電源スイッチ** : 本機を使用しないときは電源を切っておいてください。

■お手入れ

操作部などの汚れは柔らかい布で抜き取ってください。有機溶剤は絶対に使用しないでください。洗剤などを使用する際はフェーダーの溝や各ボリュームのすき間から内部に入らないようご注意ください。

長く使っているうちにフェーダーやヘッドフォン・ジャックが接触不良を起こすことがあります。これは使用頻度にもよりますが、多くの場合フェーダー内部の抵抗体やブラシ、ジャックの接点が摩耗したためで、接点復活／洗浄スプレーなどでは解決できません。逆に汚れた潤滑用グリスが流れ出して他の部品に付着し、劣化させることもあります。

フェーダーやヘッドフォン・ジャックは消耗品と考え、接触不良を起こしたら交換してしまうのが最良の方法です。弊社では業務用製品は長期使用を前提にして、十分な補修部品を確保してあります。お気軽にご相談ください。

■故障と修理について

弊社製品は、すべて厳重な出荷検査を経て出荷されています。出荷後1年以内に起こった自然故障につきましては無償修理が保証されています。また保証期間後の修理につきましても修理可能な限り有償でお受けしております。修理をご依頼の際には、本機に添付されております保証書の保証内容をご確認ください。

製造・発売元

株式会社トライテック

〒142-0061 東京都品川区小山台 1-8-5
Tel. 03-3793-8411(代) / Fax. 03-3793-8413

URL <http://www.tritech.tv/>

E-mail : sales@tritech.tv

仕 様

■入力部

入 力 数	:	8ch
コネクター	:	ELCO 8016-38 (x2) 1つはパラレル接続用
信号レベル	:	+4dBu (Balanced, All input) (0dBu = 0.775vrms)

■出力部

出 力 数	:	2ch (stereo)
コネクター	:	標準ステレオ・ヘッドフォン・ジャック (x3) または 標準ステレオ・ヘッドフォン・ジャック (x2)及び φ3.5ステレオ・ミニ・ジャック (x2) (発注時オプション)
出力レベル	:	6w + 6w (連続、8Ω 負荷)

■操作部

ステレオ・フェーダー	:	1,2ch用、45mmストローク (x1)
モノラル・フェーダー	:	3~8ch用、45mmストローク (x6)
L-C-Rパン・スイッチ	:	モノラルch用 (x6)
トーン・コントロール	:	TREBLE/BASS、±10dB 丸型
MUTEスイッチ	:	オルタネート型
MUTEインジケータ	:	MUTE時オレンジ発光 電源インジケータ(緑)と兼用
マスターVR	:	丸型

■その他

寸 法	:	310mm(W) x 720mm(H) x 260mm(D) 突起部含まず
重 量	:	約6.5kg
電 源	:	AC100v 50/60Hz
消費電力	:	約5VA

*仕様及び外観は改良などのため予告なく変更することがあります。

■入力コネクタ ピン番号表

[ELCO 8016-38pin receptacle]

Ch	Hot	Cold	Shield
1	A	E	L
2	B	F	M
3	C	H	N
4	D	J	P
5	DD	JJ	PP
6	EE	KK	RR
7	FF	LL	SS
8	HH	MM	TT

*上記以外のピンは未接続